資料　４－２

**■内容**

健康寿命延伸に向け、総合的・効果的な健康づくり施策を進めるため、行政や多様な主体（市町村、医療保険者、民間企業・団体、大学等）が連携・協働した取組みを推進する。

**■プロジェクトの重点方向**

|  |  |
| --- | --- |
| **若い世代** | **（重点方向）『ヘルスリテラシーの習得』**⇒子どもの頃から健康の大切さを学び、ヘルスリテラシーを習得することで、食生活や運動など、健康的な生活習慣を形成する |
| **働く世代** | **（重点方向）『けんしん（健診・検診）の受診』**⇒生活習慣病の予防・早期発見・重症化予防のために、特定健診やがん検診などを定期的に受診し、生活習慣を改善する |
| **高齢者** | **（重点方向）『フレイルの予防』**⇒高齢になっても健康的な生活が送れるよう、運動や食生活の改善等を通じてフレイルを予防する |

**■プロジェクトの具体的内容(平成30年度)**

✧生活習慣病の発症予防には、生涯を通じた継続的な健康づくりの実践が必要

✧若い世代からのヘルスリテラシー(※健康情報を活用する力)の習得、働く世代のけんしん受診、

高齢者のフレイル（※高齢になって心身の活力が落ちた状態）予防など、ライフステージに応じた

取組みを実施

**第２期 健康寿命延伸プロジェクト事業**

～府民の『健康寿命の延伸』と『健康格差の縮小』をめざす～



◇生活習慣病の発症予防に向けて、生涯を通じた継続的な健康づくりの実践を推進

◇若い世代から働く世代、高齢者までライフステージに応じ、重点方向に沿った取組みを推進

（重点方向）

　▸若い世代：『ヘルスリテラシー（＊健康情報を活用する力）の習得』

　▸働く世代：『けんしん（健診・検診）の受診』

　▸高齢者：『フレイル（＊高齢になって心身の活力が落ちた状態）の予防』

◇市町村や多様な主体（医療保険者、民間企業・団体、大学等）との連携・

協働のもと、総合的・効果的な健康づくり施策を推進

平成30年度当初予算額：9,104万3千円

**■目的**

「第3次大阪府健康増進計画（平成30(2018)年度～平成35(2023)年度）」に基づき、府民の健康寿命の延伸・健康格差の縮小をめざす。

**■内容**

**■プロジェクトの具体的内容（平成30年度）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **若い世代** |

|  |  |
| --- | --- |
|  健康キャンパス・プロジェクトの推進 | ・大学と連携した学生向けの健康セミナー（食生活・運動・喫煙等）の開催・女子学生を対象にした、検診車派遣による子宮頸がん検診の実施や女性の健康セミナーを開催 |

 |
| **働く世代　　　　　　　高齢者** |

|  |  |
| --- | --- |
| 中小企業の健康経営の推進 | ・府内中小企業を対象にした健康経営の取組み支援や、健康経営セミナー、健康づくりアワードを実施 |
| 女性の健活セミナー実施 | ・働く女性を対象に、女性の健康課題（乳がん等）をテーマにしたセミナーを開催 |
| 子育て女性の禁煙支援 | ・乳幼児歯科健診等の場を活用し、子育て女性の禁煙を支援 |
| 「乳がん検診」受診率向上モデル事業 | ・商業施設や市町村と連携して検診車を派遣し、気軽に乳がん検診を受診できる機会を創出 |
| 「健康格差」の解決プログラム促進事業 | ・府内市町村における健康格差の縮小に向けて、モデル市町村と連携し、分野別（特定健診受診、保健指導、フレイル予防）のプログラムを開発・実証　　※別紙参照 |

 |
| **全世代** |

|  |  |
| --- | --- |
| 府民の健康づくり機運醸成事業 | ・各種イベント等との連携によるキャンペーンなどを実施し、健康づくりの機運醸成を推進 |

 |

主要事業１

**■内容**

健康寿命延伸に向け、総合的・効果的な健康づくり施策を進めるため、行政や多様な主体（市町村、医療保険者、民間企業・団体、大学等）が連携・協働した取組みを推進する。

**■プロジェクトの重点方向**

|  |  |
| --- | --- |
| **若い世代** | **（重点方向）『ヘルスリテラシーの習得』**⇒子どもの頃から健康の大切さを学び、ヘルスリテラシーを習得することで、食生活や運動など、健康的な生活習慣を形成する |
| **働く世代** | **（重点方向）『けんしん（健診・検診）の受診』**⇒生活習慣病の予防・早期発見・重症化予防のために、特定健診やがん検診などを定期的に受診し、生活習慣を改善する |
| **高齢者** | **（重点方向）『フレイルの予防』**⇒高齢になっても健康的な生活が送れるよう、運動や食生活の改善等を通じてフレイルを予防する |

**■プロジェクトの具体的内容(平成30年度)**

✧生活習慣病の発症予防には、生涯を通じた継続的な健康づくりの実践が必要

✧若い世代からのヘルスリテラシー(※健康情報を活用する力)の習得、働く世代のけんしん受診、

高齢者のフレイル（※高齢になって心身の活力が落ちた状態）予防など、ライフステージに応じた

取組みを実施

主要事業１